



学 会 通 信

第 96 号

2020 年 9 月 29 日発行

目次

2020 年度定例会総会開催通知（会告）	2
第 27 回年次大会のご案内【直前号】	7
ICoME 2020 のご報告	11
第 1 回研究委員会 研究会のご報告	13
「教師のセルフスタディ」に関する概要と執筆手引き＋ 募集告知（第 2 報：最終）	14
論文投稿のご案内	17
学会費納入のお願い，入会者・退会者	17

2020 年度定例会総会開催通知（会告）

正会員各位

下記により 2020 年度日本教育メディア学会定例会総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお、ご出席されない方は、事務局から送られたメールに記載されている様式で委任状をお送りください（2020 年 10 月 16 日（金）まで）。

2020 年 9 月 18 日
日本教育メディア学会
会長 小柳 和喜雄

記

1.日 時：2020 年 10 月 17 日（土）12:30-13:20（年次大会第 1 日目）

2.場 所：オンライン

3.内 容：

（1）議案

第 1 号議案 2019 年度事業報告及び収支決算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2019 年度収支決算（案）、監査報告

第 2 号議案 2020 年度事業計画及び収支予算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2020 年度収支予算（案）

（2）報告事項

- ①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査経過と結果報告
- ②2021 年度年次大会の件
- ③その他

以上

(1) 議案

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算承認の件

2019年度に実施した事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「教育メディア研究」第26巻1号、第26巻2号を刊行し、H31(R1)年度会費納入済み会員に配付した。
2. 学会通信第90号(2019年5月20日発行)、第91号(2019年7月3日発行)、第92号(2019年9月27日)、第93号(2020年1月28日発行)を刊行し、会員に配付した。

②年次大会の開催

本学会第26回年次大会を、徳島文理大学で開催した(2019年11月2日-3日)。
また、「第26回年次大会発表集録」を刊行した。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催した。
 - (1) 2019年度第1回日本教育メディア学会研究会
「学校放送番組を活用した実践研究／一般」
(2019年7月6日：茨城大学)
 - (2) 2019年度第2回日本教育メディア学会研究会
「情報活用能力(プログラミング、情報モラル等を含む)指導における教育メディアの活用・教材開発／一般」
(2020年1月26日：和歌山大学)
2. ICoME 2019を共同開催した。
(2019年7月23日-25日：China Capital Market Institute, 深圳市, 広東省, 中国)
3. 企画委員会による「教師のセルフスタディ」を発行した。

④2019年度収支決算(案)、監査報告

2019年度収支決算(案)を次ページに記す。

2019 年度収支決算（案）

1. 収入の部

収 入 項 目	当初予算	決算額	差額	備 考
繰越金	3,699,127	3,699,127	0	2018年度から繰り入れ
正会員会費	1,554,000	1,365,000	▲ 189,000	195名分(昨年度172名. 正会員数317→311)
学生会員会費	88,000	64,000	▲ 24,000	16名分 (昨年度18名分. 正会員数36→39)
団体会員会費	300,000	0	▲ 300,000	0団体
購読会員会費	70,000	14,000	▲ 56,000	2会員
過年度正会員会費	252,000	854,000	602,000	のべ122名 (過年度会費入金大幅増)
過年度学生会員会費	24,000	0	▲ 24,000	0名
過年度団体会員会費	0	50,000	50,000	1団体
過年度購読会員会費	28,000	21,000	▲ 7,000	3会員
入会金	50,000	70,000	20,000	35名分
雑収入	200,000	181,032	▲ 18,968	別刷り印刷、利子、誤入金
計	6,265,127	6,318,159	53,032	

2. 支出の部

支 出 項 目	当初予算	決算額	差額	備 考
通信運搬	200,000	87,572	▲ 112,428	学会誌・別刷郵送費、その他郵送費
消耗品	100,000	37,103	▲ 62,897	文具等
設備・什器	0	0	0	
印刷製本	1,000,000	678,202	▲ 321,798	教育メディア研究26(1)・26(2)、別刷
会議費	100,000	4,140	▲ 95,860	理事会会議費
国際会議開催補助費	0	0	0	ICoME2019国外開催のため
借損料	50,000	27,000	▲ 23,000	理事会会議場借料
旅費	200,000	43,360	▲ 156,640	監査に係る旅費、理事会に係る旅費
諸謝金	650,000	382,000	▲ 268,000	事務局補助謝金、論文誌作業謝金
年次大会委託費	400,000	19,488	▲ 380,512	
研究会委託費	140,000	▲ 5,360	▲ 145,360	
企画委員会委託費	100,000	50,828	▲ 49,172	
システム運営費	35,000	32,215	▲ 2,785	ホスティングサーバー料金、DNS料金
論文賞賞金	65,000	50,000	▲ 15,000	賞金
雑費	50,000	4,144	▲ 45,856	振込手数料
予備費	3,175,127	13,000	▲ 3,162,127	誤入金返金
次年度繰越金	0	4,759,591	4,759,591	2020年度に繰り越し
計	6,265,127	6,183,283	▲ 81,844	

第2号議案 2020年度事業計画及び収支予算案

2020年度に実施する事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「教育メディア研究」第27巻1号、第27巻2号を刊行し、会員に配付する。
2. 学会通信第94号・第97号を刊行し、会員に公開する（メーリングリスト、Webサイト）。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第27回年次大会を、オンラインで開催する（2020年10月17日-18日）。また、「第27回年次大会発表論文集」を刊行し、申込者に配付する。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催する。

(1) 2020年度第1回日本教育メディア学会研究会

(2020年7月18日：オンライン開催)

(2) 2020年度第2回日本教育メディア学会研究会

(2020年12月19日：オンライン開催)

2. ICoME 2020 を共同開催する。

(2020年8月17日-18日：オンライン開催)

3. 企画委員会による「教師のセルフスタディ」を発行する。

④2020年度収支予算（案）

2020年度収支予算（案）を次ページに記す。

2020 年度収支予算（案）

1. 収入の部

収 入 項 目	前年度決算	予算額	備 考
繰越金	3,699,127	3,699,127	2019年度から繰り入れ
正会員会費	1,365,000	1,526,000	7,000円×218名（納入率70%）
学生会員会費	64,000	88,000	4,000円×22名分（納入率60%）
団体会員会費	0	300,000	6団体
購読会員会費	14,000	70,000	10会員
過年度正会員会費	854,000	42,000	7,000円×6名分（未納者の30%）
過年度学生会員会費	0	24,000	4,000円×6名分（未納者の30%）
過年度団体会員会費	50,000	300,000	6団体
過年度購読会員会費	21,000	24,000	7,000円×8会員
入会金	70,000	50,000	25名分
雑収入	181,032	180,000	別刷り印刷，利子
計	6,318,159	6,303,127	

2. 支出の部

支 出 項 目	前年度決算	予算額	備 考
通信運搬	87,572	100,000	学会誌・別刷郵送費、その他郵送費
消耗品	37,103	50,000	文具等
設備・什器	0	0	
印刷製本	678,202	1,000,000	教育メディア研究27(1)・27(2)、別刷
会議費	4,140	50,000	理事会・各種委員会・事務局会議費
国際会議開催補助費	0	300,000	ICoME2020開催のため
借損料	27,000	30,000	理事会・各種委員会会議場借料
旅費	43,360	50,000	監査に係る旅費
諸謝金	382,000	500,000	事務局補助謝金
年次大会委託費	19,488	400,000	年次大会開催委託費
研究会委託費	▲5,360	120,000	研究会委託費 2回分
企画委員会委託費	50,828	50,000	企画委員会委託費
システム運営費	32,215	355,000	ホスティングサーバー料金、DNS料金、会員管理システム
論文賞賞金	50,000	65,000	賞金、賞状
雑費	4,144	50,000	振込手数料、教育関連学会連絡協議会年会費
予備費	13,000	3,183,127	
次年度繰越金	4,759,591	0	
計	6,183,283	6,303,127	

第 27 回年次大会のご案内【直前号】

2020 年度日本教育メディア学会第 27 回年次大会にあたってのご挨拶（直前のご案内）

大会実行委員長 市川尚（岩手県立大学）

日本教育メディア学会第 27 回年次大会は、2020 年 10 月 17 日（土）と 18 日（日）の 2 日間で開催いたします。新型コロナウイルスの感染拡大にともない、第 27 回年次大会は、オンライン開催となりました。

2020 年度は、新学習指導要領の全面実施が小学校でスタートし、中学校や高等学校の実施も目前となっています。1 人 1 台を見据えた GIGA スクール構想による環境整備が進められており、授業での ICT 活用や情報活用能力の育成が今後ますます重要になってきます。一方で、コロナ禍により、大学を中心に、小中高においても、オンライン授業への暫定的な切り替えが必要となりました。今後、第二波、第三波にも備えていく必要があります。状況がおさまるまでの代替措置ではありますが、多くの教員がオンライン授業を経験することは、ICT 活用促進への何らかの起点となる可能性もあると考えられます。年次大会では、このように教育環境が変化するなかで、持つべき視点や具体的な対応について考える機会になればと思っております。

平常時であればぜひ岩手にお越しいただきたいところではございましたが、オンラインであっても皆様にとって有意義な時間となりますよう、準備を進めております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

1.日時

2020 年 10 月 17 日(土), 18 日(日)

オンラインで開催します。学会 Web サイトより案内します。

2.大会プログラム

1 日目 10 月 17 日（土）	
12:20-	接続
12:30-13:20	総会
13:30-14:30	大会企画 1 オープニングセッション 「教育現場を触発する教育メディア研究」
14:40-15:00	接続環境確認
15:00-17:00	一般研究発表 1, 企画委員会特別セッション「教師のセルフスタディ」

2日目 10月18日(日)

09:10- 接続環境確認

09:30-11:30 一般研究発表2

11:30-12:30 昼食

12:30-14:30 大会企画2 パネルディスカッション

「初等中等教育におけるオンライン授業とデジタルリテラシー」

14:40-16:40 課題研究

16:50-17:20 大会企画3 「リフレクション」

3.大会企画

- ・大会企画1 オープニングセッション 「教育現場を触発する教育メディア研究」

登壇者:小柳和喜雄(関西大学)・木村明憲(京都市立梅小路小学校)

コーディネーター:稲垣忠(東北学院大学)

本年次大会のオープニングとして、学会長よりご挨拶いただきます。その上で、木村明憲氏より、小学校教員の立場から教育メディア研究に取り組む意義について論文をもとにご紹介いただきます。さらに、参加者全員でグループ討議を行い、参加者の交流を図ります。

- ・大会企画2 パネルディスカッション「初等中等教育におけるオンライン授業とデジタルリテラシー」

司会:市川尚(岩手県立大学)

指定討論:堀田龍也(東北大学)

話題提供:三浦敏(石巻市立大原小学校)

佐々木良彰(富谷市立あけの平小学校)

金森千春(芝浦工業大学附属中学高等学校)

コロナ禍により、大学に限らず、初等中等教育へのオンライン授業の導入が進められています。一方で、オンライン授業の実現には、教員や児童・生徒の双方に、従来とは異なるデジタルリテラシーが必要になってくると考えられます。この大会企画2では、オンライン授業の実践を行ってきた登壇者の先生方に話題提供をいただきながら、今後必要となってくるデジタルリテラシーについて考える機会にしたいと思います。

- ・大会企画3 リフレクション

本年次大会はオンライン開催のため、懇親会を開催することができません。そこで、年次大会の最後に懇親会を兼ねたリフレクションの場を設けました。課題研究、パネルディスカッションの様子などを共有・振り返りながら、参加者で懇親を深めましょう。

4.発表について

課題研究・一般研究ともに発表は Zoom を使用します。発表のセッションごとに Zoom の URL を発行しますので、座長・発表者・参加者とも年次大会専用ウェブサイトよりアクセスしてください。発表者はウェブカメラ、マイク等、Zoom を使用できる環境をご用意ください。

5.参加費について

参加申し込みは、学会員・非学会員とも学会 Web サイトよりお申し込みください。振り込みを確認した後、年次大会専用サイトの ID とパスワードを通知しますので、事前振り込みにご協力ください。

- ・参加費は、昨年通り、以下の通りとします（事前振り込みは終了しました）

会員 4000 円(9月24日以降)

学生会員 2000 円(9月24日以降)

非会員 5000 円(9月24日以降)

※ただし、非会員の現職教員は無料

学生非会員 3000 円(9月24日以降)

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参集いただき、学会の認知や入会を促す意図がありますので、ご了承願います。

<参加申し込みに関わる送金先>

銀行名：セブン銀行

店名：チューリップ支店

種目：普通

口座番号：2542179

名義：市川 尚（イチカワ ヒサシ）

※振込手数料は、ご負担ください。

※ご自身の口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。

それが出来ない場合は振込後、jaems.taikai2020@gmail.com にメールでご連絡ください。

※大学事務局を通じた大学名による振込は、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。

※発表者は、参加費とは別に年会費を納めている必要があります。入金口座は、上記「事前参加申し込みに関わる送金先」とは異なります。以下をご覧ください。

<http://jaems.jp/admission/>

6.その他・お問い合わせ

前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配付となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。

年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第 27 回年次大会事務局

岩手県立大学ソフトウェア情報学部 市川研究室

メールアドレス jaems.taikai2020@gmail.com

ICoME 2020のご報告



The poster for the ICoME 2020 Online International Conference for Media in Education features a central illustration of a computer monitor displaying a presentation slide, with wireless signals connecting to various participants: a woman at a laptop, a woman with a laptop, a man at a laptop, and a man with a laptop. The text on the poster includes:

ONLINE International Conference for Media in Education

**Diversity education
in ICT advanced society**

Conference Date
August 17th-18th, 2020

Current No. Of Proposal Submission

Concurrent Session 57
Roundtable Session 56

ICoME 2020

ICoME (International Conference for Media in Education) 2020 は、今回で第 18 回目の実施となりました。日本教育メディア学会 (JAEMS)、韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)、中国教育工学会 (CAET)、アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、2020 年 8 月 17 日から 18 日に開催されました。なお 2020 年の ICoME は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オンサイトでの開催が困難であると判断し、会期を 2 日に短縮してオンラインで開催することとなりました。

初日の午前には、久保田賢一会員 (関西大学名誉教授)、浅川行弘先生 (立命館大学中学校・高等学校)、影戸誠会員 (日本福祉大学) によるキーノートセッションが行われました。今年度の ICoME のキーワードである、Diversity を実現するための学習機会について、具体的な事例とともにご紹介いただきました。午後は、学生によるラウンドテーブルセッションが開催されました。ラウンドテーブルセッションは、学生間の闊達な議論の場とすることを目的としていますが、オンラインでのコミュニケーションが活性化するか不安がありました。しかし、明治大学やハワイ大学の学部生および大学院生たちがファシリテーターとしてセッションを盛り上げ、活発な意見交換が行われました。

2 日目の午前には、オンラインの新しい試みとして、カジュアルカフェトークが設定されました。このセッションでは、「新型コロナウイルス感染拡大状況下における各国の最新の教育事情」、「新型コロナウイルス感染拡大中および終息後の研究の種」、「新型コロナウイルス感染拡大中および終息後のビジネスの機会」、「新型コロナウイルス感染拡大中の研究公表の状況変化」というテーマで、自由な意見や情報の交換が行われました。続いて、コンカレントセッションでは、教育メディアを昨今の状況下や近年の教育トレンドの中でどのように活用していくのか、様々な報告がありました。またその後、野ロジュディ先生 (神戸学院大学名誉教授) より「The search for new normals in education from 2020: Focus on language for specific purposes」という題目でのキーノートスピーチをいただきました。最後に、クロージングトー

クとして、ICoMEを連携して開催している各国代表者よりスピーチをいただき、盛会のうちに終了することができました。

初めてのオンライン開催、なおかつ開催時期を延期せず実施するということが、大会を運営するスタッフ一同大きな不安がありました。しかし、最終的にはコンカレントセッションで53件、ラウンドテーブルセッションで54件の発表があり、また前回日本で開催された2016年の270名を超える、292名の参加申し込みがあり、不安は杞憂に終わることとなりました。

最後に、ご参加いただきました皆さま、学会運営に協力してくださったスタッフの方々、ラウンドテーブルセッションにてファシリテーターとして参加してくださった皆さまに対し、心より御礼申し上げます。

研究委員会（国際）委員長	岸磨貴子
同副委員長	影戸誠
	山本良太
同委員	工藤雅之
	千葉美保子
	高林友美
	張曉紅

第1回研究委員会 研究会のご報告

テーマ「新たな可能性を見出す教育実践とメディア利用／一般」

2020年7月25日(土)、「2020年度第1回研究会」がオンラインで開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、初のオンラインによる研究会を開催する運びとなりました。使用システムはWeb会議システムであるZoomを利用し、2会場を個別設定したオンライン研究会となりました。

今回の日本教育メディア学会の研究会のテーマは、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの教育機関で休校措置や遠隔教育が実施されている現状から、「新たな可能性を見出す教育実践とメディア利用／及び一般」としました。その結果、11件の研究発表の申し込みをいただき、オンライン開催という利点もあり北海道から九州という全国各地より50名を超える参加者がありました。

A会場では、主に遠隔授業（オンライン授業）における教育実践などの発表がなされました。グループチャットツールやオンデマンド型動画配信などの活用、コロナ禍におけるオンライン授業の様々な事例が示されました。また、学部生の登壇もあり非常に興味深いものとなりました。

B会場では、主にメディア利用や一般研究の発表がなされ、教員の教職経験がテクノロジー利用に及ぼす影響や中学校教師の授業でのメディア利用、プログラミング的思考を育成する教材支援や番組制作者の意識・態度の調査など、多岐に渡る発表がなされ、教育メディア研究の新たな可能性も示されたと感じます。

オンライン開催かつワンオペレーションという体制で多少の心配もありましたが、接続不良が1件のみと大きなトラブルも無く、研究発表は座長の的確な進行のおかげで両会場とも滞りなく進みました。オンラインという利点で両会場を簡単に行き来することができ、活発な意見交換も展開できたと感じます。充実した発表内容から、コロナ禍でも様々な取り組みができることを確認でき、様々な可能性を見出したのではないのでしょうか。

最後に、オンライン研究会にご参加・ご発表いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



文責：川瀬基寛（十文字学園女子大学）

「教師のセルフスタディ」に関する概要と執筆手引き ＋募集告知（第2報：最終）

企画委員会

第9期企画委員会では、教育実践の充実度を学会から発信すること、学校教員による実践研究の第一歩として、学会誌「教育メディア研究」とは別に、教育実践による論文報告集をオンラインで発行することを計画しています。①自らが計画・実践した教育実践であり、②10月に開催される学会年次大会で発表をする（課題研究・一般研究を問わない）という条件を満たしたものについて、2020年度中に発行する報告集の第2集に投稿していただけるように準備をしています。初等・中等教育機関に所属する教員の発表を優先しますが、高等教育機関において、自ら教育実践を計画・実施した方も対象としております。第1集は以下に掲載済みですので、参考までに御覧ください。

<http://jaems.jp/kikaku/>

査読なしの教育実践研究としますが、企画委員会で閲読した上で、修正点をアドバイスします。また、各論文については、企画委員会からひとことコメントを付ける形でその実践の良さや特徴などをより明確にしたうえで発行します。

スケジュールと執筆の手引きについて、以下に掲載しますので、奮ってご投稿ください。

なお、10月にオンラインで開催される年次大会におきましては、この企画と連携させた特別セッション「教師のセルフスタディ」を予定しております。本セッションでは、発表に基づき、より充実した投稿に向けて議論したいと考えています。

投稿方法、投稿先

- ・投稿方法：<http://jaems.jp/kikaku/self-study/> を御覧ください。執筆の手引やテンプレートも公開しております。
- ・投稿先：企画委員会メーリングリスト 9th_event@jaems.jp

スケジュール

- ・10月17日、18日（学会年次大会開催）※17日に企画委員会特別セッションを開催予定
- ・12月20日締切
- ・1月20日ごろ閲読結果の返送
- ・2月15日著者による最終投稿
- ・3月15日編集完了および公開

電子ジャーナル掲載論文の執筆の手引

1. 執筆者（筆頭筆者）は、学会の正会員でなければいけません。当該年度の年次大会で発表した教育実践を対象とします。共著は可ですが、実践者本人が筆頭著者を務めてください。

2. 原稿は、執筆者自身が教育実践を深く振り返るとともに、読者がその実践を共有し、活かすことができる論文で、6 ページ以上、10 ページ以下とします。

※「教育メディア研究」をはじめとした学会誌の投稿につなげる実践研究の第一歩という位置付けですので、研究としての新規性は特に求めません。しかし、実践者本人としてより深いリフレクションを心がけたり、客観的なデータを示す工夫をしてください。なお、査読は行いませんが、読みやすさを高めるために企画委員会で閲読を行います。

3. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、学会の年次大会や研究会などでの発表、プリントの場合は、未発表の扱いとします。

4. 執筆者は、原稿が第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証するものとします。執筆後に投稿された論文が、第三者の権利等の侵害に起因する問題を生じさせた場合、当該論文の著作者が一切の責任を負うものとします。

5. 投稿方法

企画委員会が用意をする宛先にメールによりご投稿いただきます (9th_event@jaems.jp)。

6. 論文の構成

論文はタイトル、要旨 (400 字以内)、キーワード (6 個以内)、本文、注、引用参考文献により構成します。

7. 版組・書式

(1) 版組

- ・用紙：B5・縦置き・横書き
- ・余白：上 24mm, 下 22mm, 左 20mm, 右 24mm
- ・段組：横 20 字×縦 43 行×2 段組 (ただし、タイトル、執筆者名、要旨、キーワードは 1 段組)

(2) 行間

- ・タイトル (サブタイトル) 前後：各 1 行
- ・執筆者名後：1 行
- ・要旨後：1 行
- ・キーワード後：1 行
- ・見出し前：1 行
- ・欧字執筆者名後：3 行
- ・図・表・写真の上下：各 1 行

(3) 見出しについては、以下のような扱いとします。

- ・ 1., 2., 3. (最上位の見出し) : 見出しと本文の間に 1 行行間
- ・ 1.1., 1.2., 1.3. (下位の見出し) 及びこれ以下のもの : 下位の見出しと本文の間は行間なし。

(4) 表記細則

- ・ 和文は明朝体 (MS 明朝, ヒラギノ明朝 pro 等) またはゴシック体 (MS ゴシック, ヒラギノ角ゴ pro 等), 英文は Century/Times/Times New Roman とし, 下記の大きさに準拠します。
- ・ タイトル : 明朝体 (ボールド), 12 ポイント, 中央寄せ。なお, 読点はいれません。
- ・ 執筆者名 : 明朝体, 9 ポイント, 右寄せ
- ・ 執筆者所属 : 明朝体, 9 ポイント, 右寄せ
- ・ 要旨 : 明朝体, 8.5 ポイント, 両端揃え
- ・ キーワード : 明朝体, 9 ポイント, 両端揃え
- ・ 本文 : 明朝体, 9 ポイント, 両端揃え
- ・ 見出し・見出し : ゴシック体 (ボールド), 9 ポイント, 左寄せ
- ・ 図/写真タイトル : ゴシック体, 9 ポイント, 図/写真下部に左寄せ
- ・ 表タイトル : ゴシック体, 9 ポイント, 表上部に中央寄せ
- ・ 欧字執筆者名 : Century/Times/Times New Roman, 9 ポイント, 右寄せ
- ・ 数字・欧字は, すべて半角に統一する (ただし固有名詞・慣用句の数字は漢数字)。
- ・ 句読点は, 「,」「。」です。
- ・ 表記は, 引用文を除き, 常用漢字・新送り仮名を原則とします。
- ・ 年代表記は, 西暦とし元号を用いる場合は, 西暦 (元号) とします。
- ・ 人名は初出の場合は, 氏名表記とし, 再出では氏のみでの表記とする。なお外国人の場合はカタカナ表記とし, パーレン括弧によって欧字表記もつけます。例 : ジョン・デューイ (John Dewey)
- ・ 差別用語を用いないように細心の注意を払ってください。

8. 注・引用・参考

注・引用・参考の方法および文献の表記方法については, 日本教育工学会 (<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>) の方法を参照してください。

9. 掲載後の著作権

(1) 電子ジャーナルに掲載された論文の著作権は, 本学会に帰属します。また, 著者は, 本学会が作成する Web サイトに論文を掲載・提供することに許諾したものとします。

(2) 論文について, 執筆者自身による教育目的での利用 (著者自身による著作物への転載, Web サイトへの掲載, 複写による配布等を含む) は, 本学会に許諾申請をする必要はありません。ただし, 出典(論文題目, 電子ジャーナル名, 掲載年等)を記載してください。

論文投稿のご案内

編集委員会

〆切：随時

『教育メディア研究』では、一般論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）の年会費（正会員7,000円、学生会員4,000円）が未納の方は、会員システムからお手続きください。

論文誌は、会費が納められている会員に対してのみ発送しております。まだ納付されていない会員につきましては、納められたことを確認した後、発送いたします。

銀行振り込みをご希望される場合は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会

論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録をお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員 (2名)・・・赤木恭子, 鷹野昌秋

新入会員・学生会員 (2名)・・・DENG BEIQI, 佐藤洋希

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 341名・16団体

名誉会員：4名

正会員：301名

学生会員：36名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

(2020年9月18日現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学) 副委員長 岩崎千晶 (関西大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 遠海友紀 (東北学院大学) 竹中喜一 (愛媛大学) 多田泰紘 (関西大学)